

授業科目

専門体育実践II

担当教員名 安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久	対象学年	4	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	◎	◎	◎

授業の概要

救急現場では、医療機器運搬や傷病者搬送など大きなエネルギーを必要とする労作が伴う。また、長時間の活動となるため肉体的負担は少なくない。本科目では、基礎体力を演習形式で養成する。また、傷病者管理に必要なボディメカニクスの応用を修得する。

授業の目的

救急救命士に必要な基礎体力を養い、あわせてボディメカニクスの応用を修得する。

学習目標

- 1.活動に必要な基礎体力を錬成する。
- 2.傷病者管理に必要なボディメカニクスの応用を修得する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(1)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
2	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(2)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
3	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(3)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
4	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(4)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
5	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(5)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
6	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(6)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
7	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(7)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
8	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(8)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
9	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(9)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
10	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(10)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
11	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(11)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
12	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(12)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
13	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(13)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
14	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(14)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他
15	持続走、筋力トレーニング、ボディメカニクス応用(15)	演習	安達 哲浩、竹井 豊、神藏 貴久 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

持続走および筋力錬成の設定目標クリア(50%)
ボディメカニクス応用の修得(50%)
不合格者に対しては再試験または補習により再度可否を判定する。

履修上の留意点

運動に適した服装および標準活動服(入学時購入)を着用のこと。

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

- 1.病気、怪我などの身体的理由(要診断書)または適正な理由(要担当教員許可)が無く欠席または遅刻をした場合。
- 2.授業態度不良と判断された場合。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。